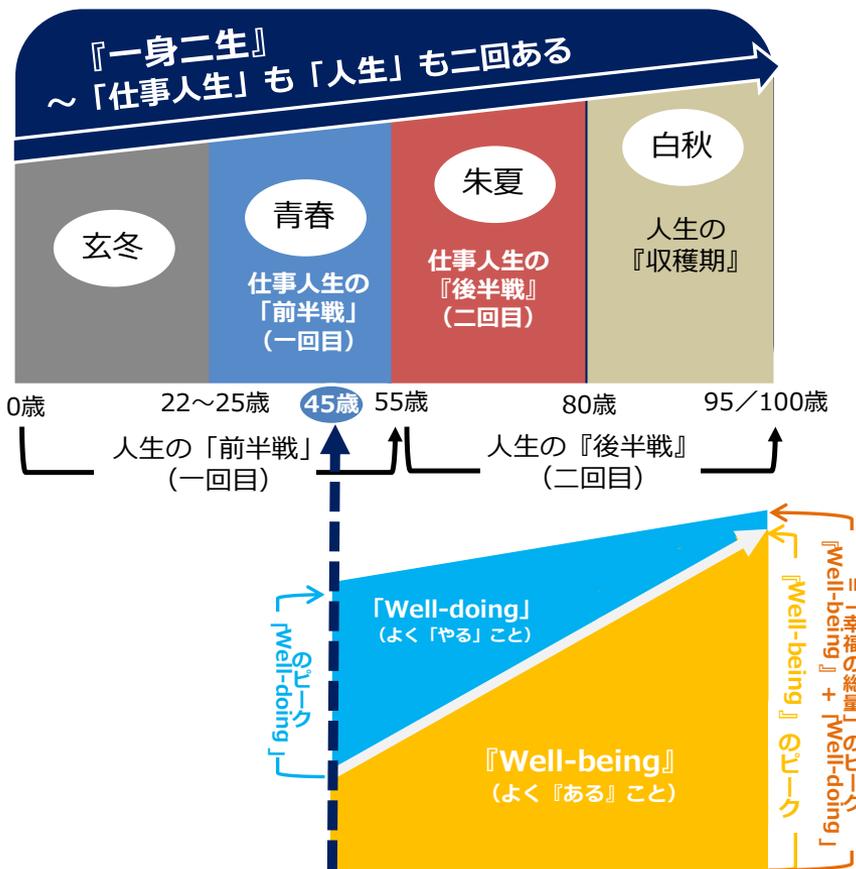


『100年ライフ』の「人生の四季」と『一身二生』実現の《人生戦略》



『人生100年』の人生哲学は、まだ生み出されていない。そこで東洋の伝統的思想に立ち返って、人生は「冬」から始まると考えてはどうだろうか。—— この世に誕生して、一人の人間として芽吹くまでが「冬」の時期である。この「玄冬期」を卒業する22~25歳に「春」が訪れる

そして55歳までの「青春期」に、「就職／知識・スキルの習得／家族の形成／収入と役職の獲得」に励む。この青春期は、「Well-doing」 (=行動と獲得) 主体に、他者と競い合い、切磋琢磨する仕事人生の「前半戦」である

55歳から、暑い『夏』が始まる。ここからが、仕事人生の『後半戦』で、人生も『後半戦』に入る。『朱夏期』では、「役職定年や役割交代で、仕事での自分の立ち位置が変わる」／「子供が成長して、家族の形が変わる」／「心身に不調が生じる」… など、さまざまな面で変化が起きる。こうした背景のもと、仕事人生&人生において「価値」を感じるものが変わるようになり「生き方・働き方を選び直す」必要性が高まってくる。—— そのため「青春期」を終える前に、『朱夏期』の「生き方・働き方」を準備しておく

- ※ 『Well-doing』がピークとなる「45歳頃」 (=青春期の終盤) から、「軸足」を『Well-being』へシフトチェンジすることを意識する
- ※ 『二回目の人生』 (=朱夏期+白秋期) は、「価値観」を変換した「もう一人の自分」になって「二回目ならではの生き方・働き方」をする

BST
提案

『二回目』 (=後半戦) は、「生き方・働き方」 = 「仕事観／役割観や人生観／幸福感」を進化させ、「社会の人材」 (=Well-being主体) となり、人や社会に役立つことをしながら、「幸福の総量」 (= Well-being + Well-doing) を積み上げる。—— **こうして、『一身二生』の人生を存分に楽しみます**

(※ 「先進的な生き方・働き方」 = 「二回目らしい仕事観／役割観や人生観／幸福感」については別途説明します)